

● 車も道具。大事に使用し安全を維持しよう！

8月より月に1回、日頃使用する車輛を自らがメンテナンスする事で、車を大事に使用し、安全な状態を維持する。そのためにも、車輛のメンテナンス日を各自が責任を持って設定する事としました。

メンテナンスは主に車輛の腐食箇所の補修作業になりますが、錆が小さい時に補修をしておけば、安全な状態を維持する事が出来ます。しかし、錆を放置しておけば、時によっては漏油にも繋がり収集活動どころではありません。

漏油箇所によっては消防署による完成検査を受けなければならない事もあります。その間、車輛の使用はできません。そうならないためにも、錆を早期発見したら自らが補修し塗装をするだけで、漏油の予防にもなります。



バッテリーは特に夏場にバッテリー上がりが起きやすいです。バッテリー液が基準のライン内に入っていれば良いですが、外からは見づらいなので、キャップを開けて、直接覗いてバッテリー液の量を確認します。少なければバッテリー補充液で補充します。

また、バッテリーのプラス⊕、マイナス⊖のターミナル部の締め付け具合も手で確認します。締め付けが緩ければ、エンジン始動が困難になりバッテリー上がりと勘違いをしてしまいます。ターミナル部も手で触って確認してみましょう。



ジャッキアップは、平坦な場所で慎重に作業を行います。車輛前側はフロントアクスル部の中心部にジャッキを掛けジャッキアップします。フロントアクスル部にジャッキスタンドを掛けフロントを安定させます。車輛後側はリアアクスルのデフレンシャル部にジャッキを掛けジャッキアップし、ジャッキスタンドを掛けリアを安定させます。

車輻下部は、車輻の真下に寝板を使って入り込み直接目視確認します。

エンジンからトランスミッション、デファレンシャル等のオイル漏れの確認等や、マフラーについては腐食により排気ガスが漏れていないか等々、点検します。

ジャッキアップ時は、車輻のバランスが一時的に不安定になるので、ゆっくりジャッキアップしましょう。また、ジャッキダウン時もジャッキがゆっくり降りる様に、ガレージジャッキを操作しましょう。



今回の安全講習では初めてタンクローリーの下廻りを見た社員もいます。外観や室内はいつでも確認できますが、車輻の下廻りはこのような機会が無ければ見る事が出来ません。

今後は毎月、車輻の点検整備を各自が行いますが、“車も道具”であることを再認識し、洗車や錆の補修を行いながらいつでも綺麗な状態で、回収業務に携わりたいと思います。



美しいふるさとを守る

山陰興業株式会社
SAN IN KOGYO
<http://www.e-skk.co.jp>

〒699-0822 島根県出雲市神西沖町 2487 - 5
TEL : 0853-43-0159 FAX : 0853-43-0147
ECO'S 通信編集部長 松下 章一
E-mail:s.matsushita@e-skk.co.jp